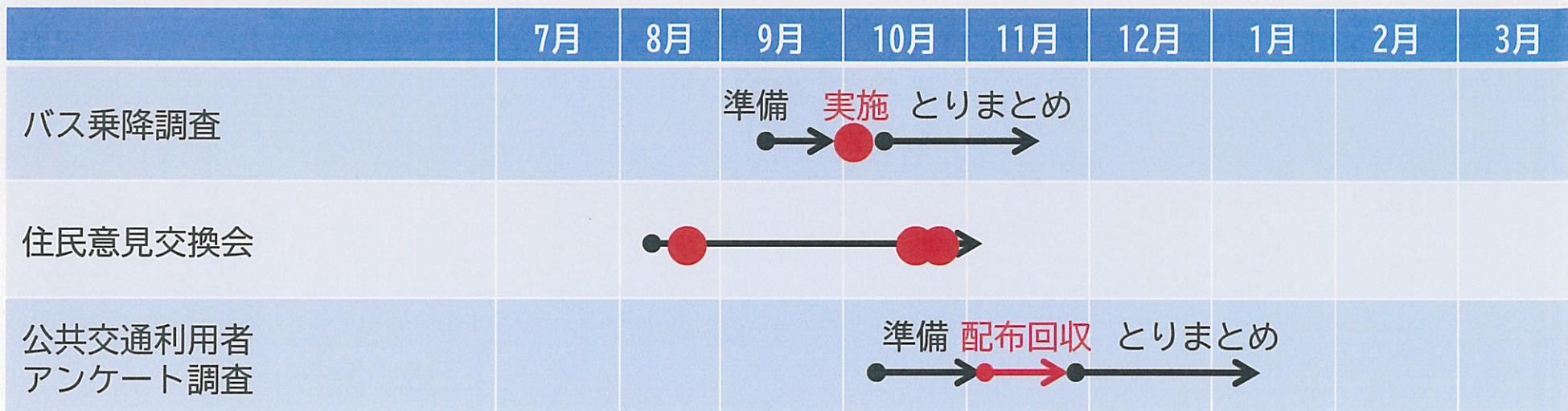


各種調査結果・今後の方向性について

令和2年度 第3回 赤井川村地域公共交通活性化協議会

1. 各種調査実施状況



2. 赤井川村地域公共交通の今後の方向性

◆バス乗降調査の実施概要

- ・調査時期：令和2年9月24日（水）、9月27日（日）
- ・調査対象：赤井川線（平日）、赤井川村公共交通バス（休日）の利用者
- ・調査内容：【利用者数調査】目視によりバス停ごとの利用者数をカウント
【利用実態調査】調査員によるヒアリングでの調査実施

※上記の調査に加え、ハイヤー運行日誌の分析についても実施

◆バス乗降調査結果概要

赤井川線（常盤～道の駅～余市駅）

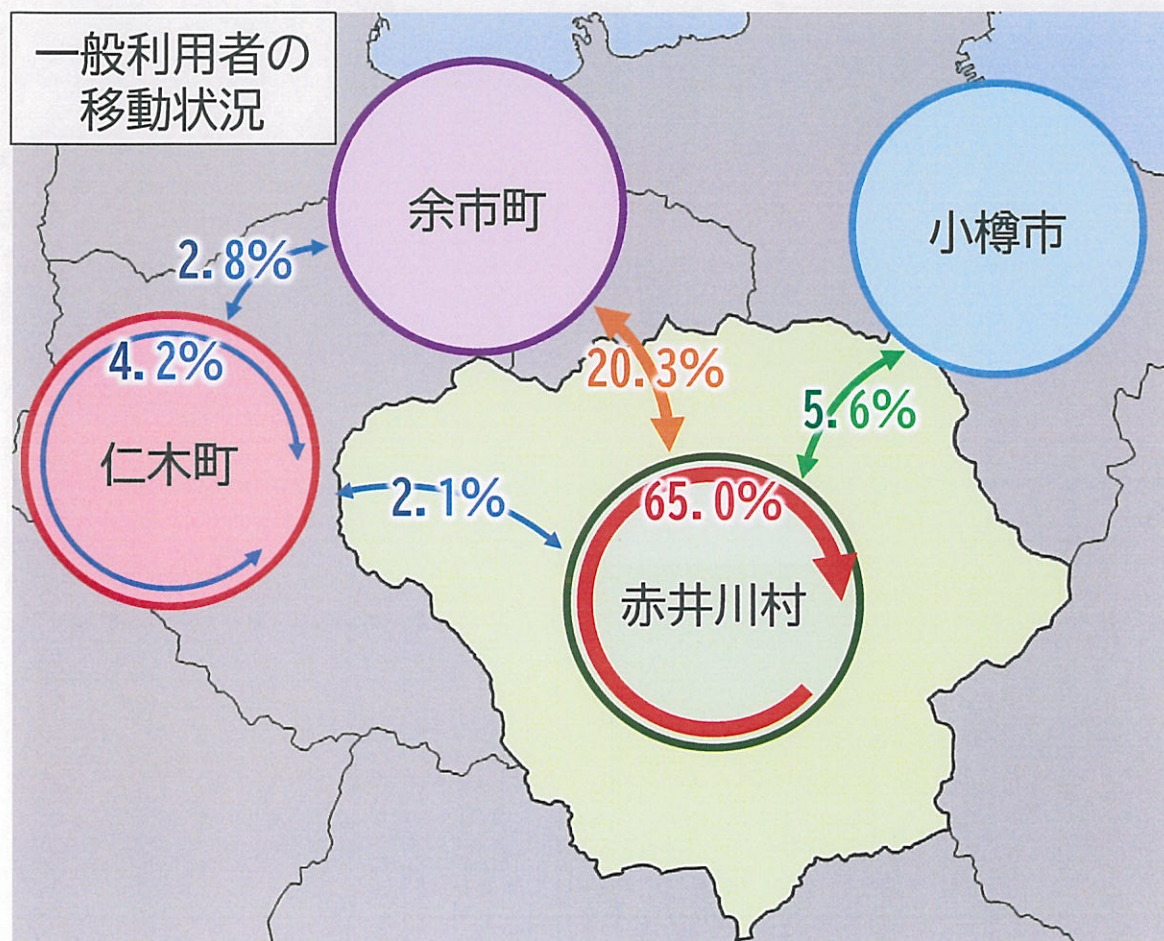
出発時刻	方向	乗車人数	利用目的
6:30	道の駅発	6	通勤、通学
9:40	常盤発	3	通院、買い物
14:45	道の駅発	3	観光
17:10	常盤発	1	帰宅
8:35	常盤行	2	通勤、私用
13:55	道の駅行	2	帰宅
16:00	常盤行	3	帰宅
18:20	道の駅行	2	帰宅

赤井川村公共交通バス（常盤～道の駅～余市駅）

出発時刻	方向	乗車人数	利用目的
6:30	道の駅発	3	通学、私用
8:50	常盤発	1	私用
15:00	道の駅発	1	帰宅
17:10	常盤発	1	帰宅
7:35	常盤行	1	通勤
10:15	道の駅行	0	—
16:00	常盤行	2	帰宅
18:20	道の駅行	3	帰宅

◆ハイヤー運行日誌分析

- ・分析期間：令和元年4月～令和2年3月
- ・一般利用回数：144回、放課後輸送等：178回 全322回運行（実運行日数190日）



移動が多かった区間 (一般利用者)	利用回数 (回)
字都～セイコーマート	14
カルデラ温泉～さち美容	11
カルデラ温泉～団地（字赤井川）	7
グループホームあまらんす～字都	5
村内自宅～余市町	10
団地（字赤井川）～余市町	5
キコロリゾート～セイコーマート	4
キコロリゾート～字常盤	2
キコロリゾート～小樽市	3
キコロリゾート～余市町	1

◆意見交換会の結果概要

開催日	開始時間	会場	対象地区	参加人数
8/19 (水)	19:00	赤井川村 都住民センター	都、曲川	18人
10/22 (木)	18:00	赤井川村 落合住民センター	落合、常盤	6人
10/23 (金)	18:00	赤井川村 健康支援センター	日ノ出～旭丘	12人

通学

- ・JRとの接続状況が悪いため、通学場所によっては、毎朝余市駅までの送迎が必要
- ・村外の下宿場所が減少しており、村からの通学需要への対応が必要
- ・公共交通の利便性が低いため、志望校に行けないことがないようにしてほしい

買い物・通院

- ・余市町のほか、小樽市や倶知安町へ行く
- ・小樽キロ口線が廃止となり不便
- ・余市駅からバスに乗り継いで病院に行く
- ・朝・夕の通学時間帯を確保の上、8～15時台に利用できる公共交通があると良い
- ・午前中に往復できる運行が望ましい

バス利用者の利用実態

- ・午前中に村を出発するバスに乗って、16時台に帰ってくることが多い
- ・余市駅での他バス路線への乗継における待ち時間が長い

将来

- ・現状の公共交通の整備状況では免許返納が難しく、将来の移動が不安
- ・余市町や小樽市へのアクセス利便性が向上すれば、定住や移住促進に繋がる

新しい交通

- ・ニキバスのような予約型の交通が良い
- ・バス停まで歩く必要がなくなるよう、自宅や自宅付近まで迎えにくる交通が望ましい
- ・実証運行を行いながら、利用者等の意見を聴取し、改善しながら実施してほしい

◆アンケート調査の実施概要

- ・調査時期：令和2年9月24日（水）、10月30日～11月13日（金）
- ・調査対象：高校生、高齢者、バス半額助成券利用者
- ・調査項目：対象者に応じて、それぞれに調査項目を設定

対象者	調査期間	調査方法	配布数	回収数
老人クラブ参加者	令和2年9月24日	ヒアリング	30票	30票 (100%)
バス半額助成券 利用者（学生）	令和2年10月30日 ～11月13日	郵送配布・回収	12票	5票 (41.7%)
バス半額助成券 利用者（学生以外）			90票	52票 (57.8%)

◆ 学生アンケート調査結果（速報値）

・ 調査項目：具体的な移動時間や場所 ⇒ 通学移動支援のあり方を検討

● 「赤井川村のバス交通等」に関するアンケート調査 ● 実施機関：赤井川村

この調査は、将来の交通計画を立てる基礎資料を得るために行うものです。この調査票に記入された内容は、この目的以外には使用いたしません。

質問1 あなたご自身のことについてお答えください。（該当する番号に「○」をつけてください。また は当てはまる内容をご記入してください）

(1) あなたのお住まいの地区 (該当する番号に「○」をつけてください。)	1. 字池田 2. 字赤井川 3. 字日の出 4. 字落合 5. 字常盤 6. 字旭丘 7. 字富田 8. 字都 9. 字曲川 10. その他 ()
(2) あなたの通学先の住所 (高校名でも構いません。)	
(3) あなたの性別	1. 男性 2. 女性

質問2 あなたの平日の通学時の主な行動についてお答えください。（当てはまる番号を選択、もしくは () 内にご記入ください）





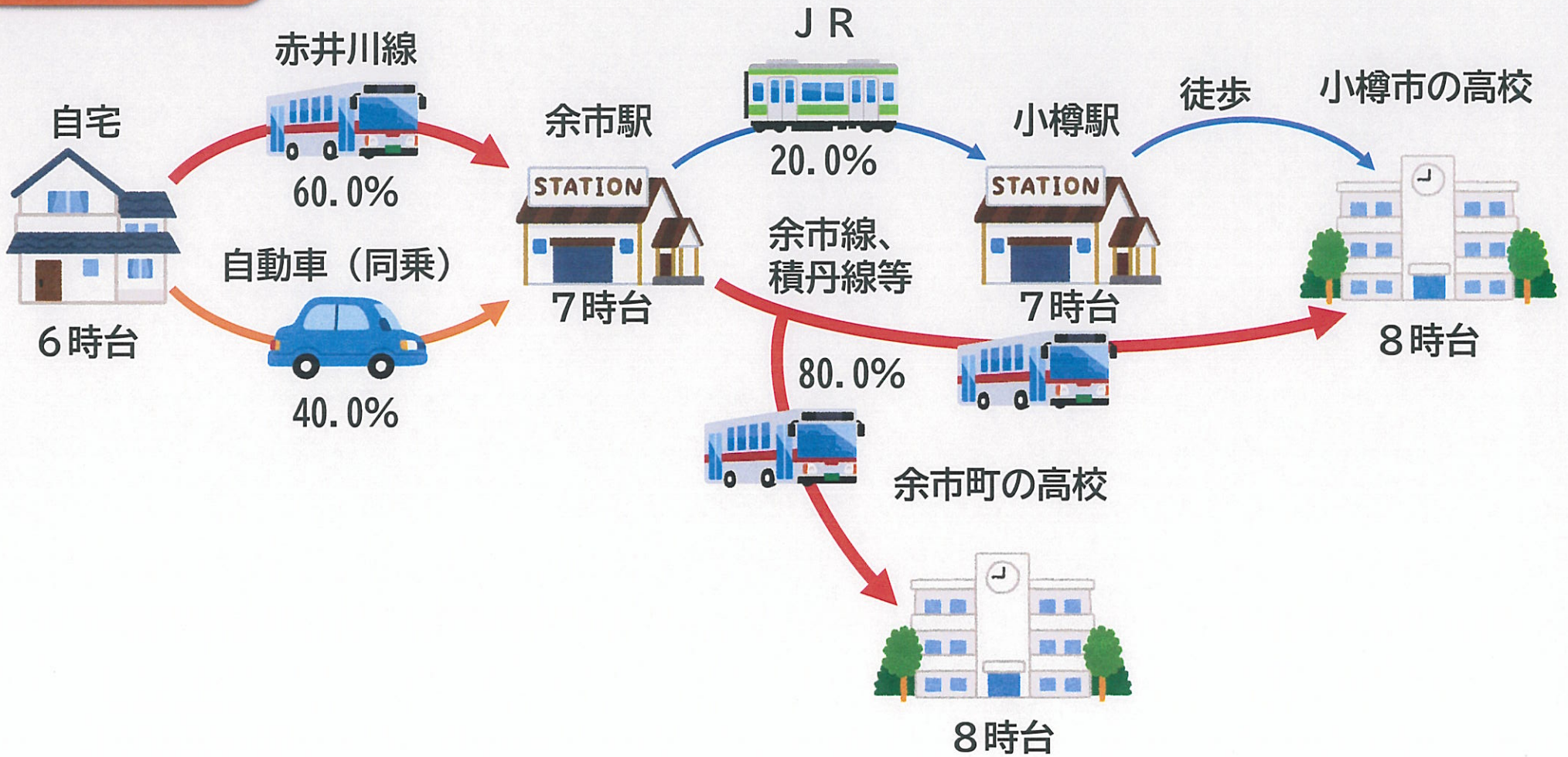
通学時 	交通手段1 出発時刻及び到着時刻 出発時刻 午前 時 分 午後 時 分 到着時刻 午前 時 分 午後 時 分	交通手段2 出発時刻及び到着時刻 出発時刻 午前 時 分 午後 時 分 到着時刻 午前 時 分 午後 時 分	交通手段3 出発時刻及び到着時刻 出発時刻 午前 時 分 午後 時 分 到着時刻 午前 時 分 午後 時 分	交通手段4 出発時刻及び到着時刻 出発時刻 午前 時 分 午後 時 分 到着時刻 午前 時 分 午後 時 分			
	交通手段等 表1から選択 番	所要 時間 (分)	乗降地点 駅・ バス停等	交通手段等 表1から選択 番		所要 時間 (分)	乗降地点 駅・ バス停等
	→						
	→						
	→						
帰宅時 	交通手段1 出発時刻及び到着時刻 出発時刻 午前 時 分 午後 時 分 到着時刻 午前 時 分 午後 時 分	交通手段2 出発時刻及び到着時刻 出発時刻 午前 時 分 午後 時 分 到着時刻 午前 時 分 午後 時 分	交通手段3 出発時刻及び到着時刻 出発時刻 午前 時 分 午後 時 分 到着時刻 午前 時 分 午後 時 分	交通手段4 出発時刻及び到着時刻 出発時刻 午前 時 分 午後 時 分 到着時刻 午前 時 分 午後 時 分			
	交通手段等 表1から選択 番	所要 時間 (分)	乗降地点 駅・ バス停等	交通手段等 表1から選択 番		所要 時間 (分)	乗降地点 駅・ バス停等
	→						
	→						
	→						

表1 交通手段等の種類

1. 徒歩	2. 自転車	3. 自動二輪	4. 乗用車(同乗)	5. タクシー
6. バス	7. JR	8. その他		

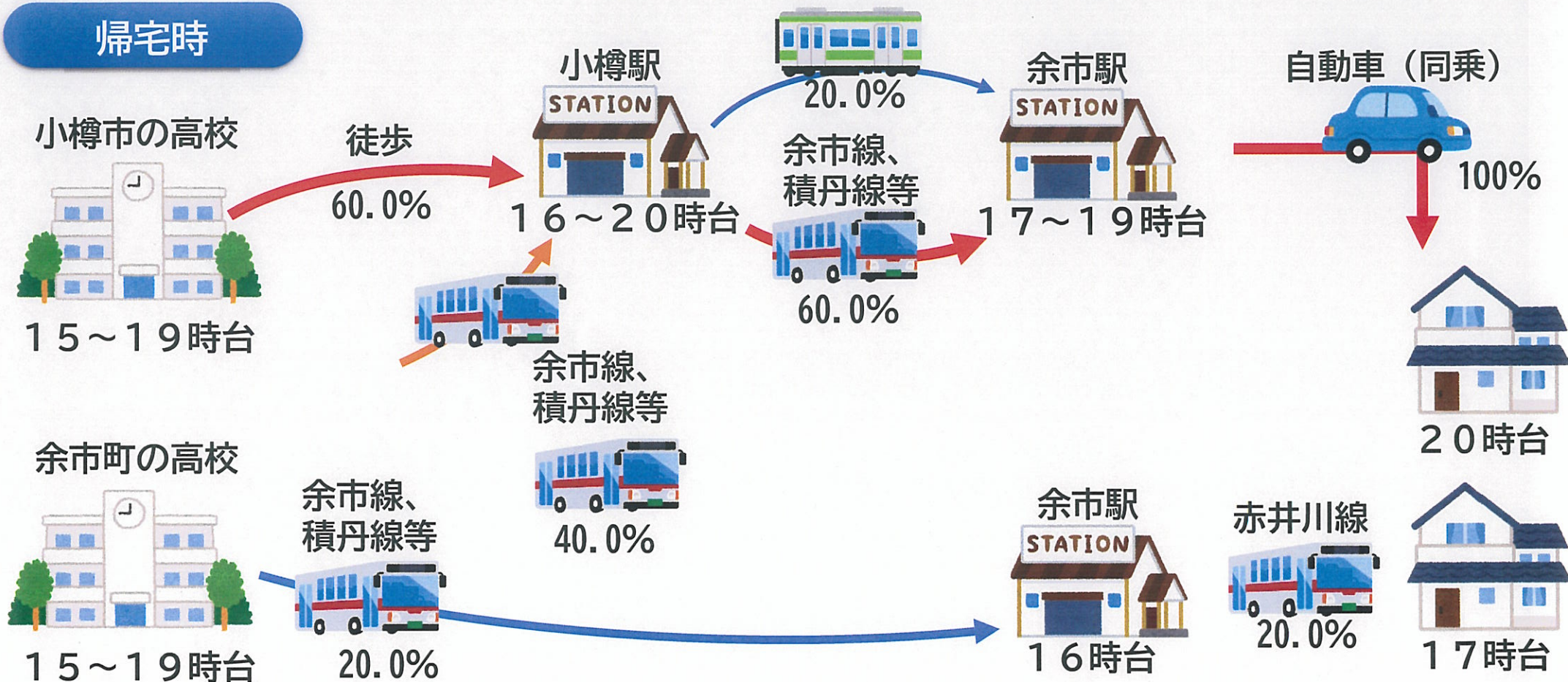
◆学生アンケート調査結果（速報値）

通学時



◆学生アンケート調査結果（速報値）

帰宅時



☑ 通学移動支援のあり方の検討に向け、中学生を持つ家庭を対象に追加でアンケート調査を実施予定

◆ 高齢者、バス半額助成券利用者アンケート調査結果（速報値）

- ・ 調査項目：基本属性 ⇒ 地区別や年齢別等の属性別の詳細分析
- 日常的な生活状況 ⇒ 買い物や通院時の移動場所や時間帯の整理
- 公共交通に対する考え方 ⇒ 新しい交通の利用意向

☑ 赤井川村独自の交通体系の構築に向け、詳細分析を実施予定

赤井川村の公共交通をより良くするためのアンケート調査票

■ 選択肢に○をつける質問には「1つだけ」、「いくつでも」の3種類がございます。
■ 質問の中で、() 書きがある部分には、当てはまる数字、あるいは質問の内容を踏まえた具体的な記述をお願いします。

1. あなたご自身のことについて教えてください

問1 あなたの性別・年齢

①性別	1. 男性	2. 女性			
②年齢	1. 20歳未満 6. 60～64歳	2. 20歳代 7. 65～69歳	3. 30歳代 8. 70～74歳	4. 40歳代 9. 75歳以上	5. 50歳代

問2 あなたの職業 【1つだけ】

1. 会社員・団体職員	2. 自営業	3. 農・林・水産業	4. 公務員
5. パート・アルバイト	6. 主婦・主夫	7. 無職	8. その他 ()

問3 あなたの住所 【1つだけ】

1. 宇池田	2. 宇赤井川	3. 宇字の出	4. 宇落合	5. 宇常盤
6. 宇旭丘	7. 宇富田	8. 宇都	9. 宇曲川	

問4 免許・自動車の保有状況 【1つだけ】

1. 免許も自動車も持っている	2. 免許も自動車もあるが免許返納を考えている
3. 免許はあるが、自動車はない	4. 以前は免許を持っていたが、免許返納をした
5. 免許を持ったことがない	

※問4で「1.」もしくは「2.」と回答された方にお聞きします。

問5 自動車の運転意向 【1つだけ】

1. () 歳頃まで運転したい	2. できる限りずっと運転したい
3. 今すぐにもやめたい(免許返納したい)	4. わからない
5. その他 ()	

※問4で「1.」もしくは「2.」と回答された方にお聞きします。

問6 将来、運転が困難になった場合の移動手段 【1つだけ】

1. 徒歩、自転車	2. バスを利用する
3. JRを利用する	4. タクシーを利用する
5. 外出支援サービスを利用する	6. 家族や知り合いに送迎してもらう
7. 町内の便利ところに引越す	8. 町外の便利ところに引越す
9. 外出を控える	10. その他 ()

※問5で「1.」もしくは「2.」と回答された方にお聞きします。

問7 免許返納により困ること 【いくつでも】

1. 買い物に行けなくなる	2. 通院ができなくなる
3. 仕事ができなくなる	4. 自分の趣味の活動が制限される
5. 特に困ることはない	6. その他 ()

※面 (P2) にお進みください P.1

2. あなたの日常的な生活状況について教えてください

問8 買い物の状況についてお聞きします。

①商品宅配等の利用状況 【1つだけ】	1. 商品宅配を利用している 2. 移動販売車を利用している 3. 商品宅配、移動販売車ともに利用している 4. 利用していない
②直接お店へ買い物に行く 頻度 【1つだけ】	1. ほほ毎日 4. 2週間に1回 7. めったに行かない →「問9 通院の状況」へお進みください。
③よく行く買い物先の市町名 【いくつでも】 ※具体的な店名もご記入下さい	1. 赤井川村内 4. 俱知安町 5. その他 () 具体的な店名 ()
④買い物に行く際の交通手段 【いくつでも】	1. 徒歩 4. JR 6. 外出支援サービス 7. 自動車(家族の送迎) 8. 自動車(家族以外の送迎) 9. 原付・バイク 10. その他 ()
⑤買い物に行く曜日 【いくつでも】	1. 月曜日 4. 木曜日 7. 日曜日
⑥買い物に出かけて、帰宅するまでの時間	2. 火曜日 5. 金曜日 8. 特に決まっていない

自宅 → 買い物先 (出発時間, 到着時間)

買い物先 → 自宅 (出発時間, 到着時間)

記入例 (9 : 30) (10 : 00) (11 : 00) (11 : 30)

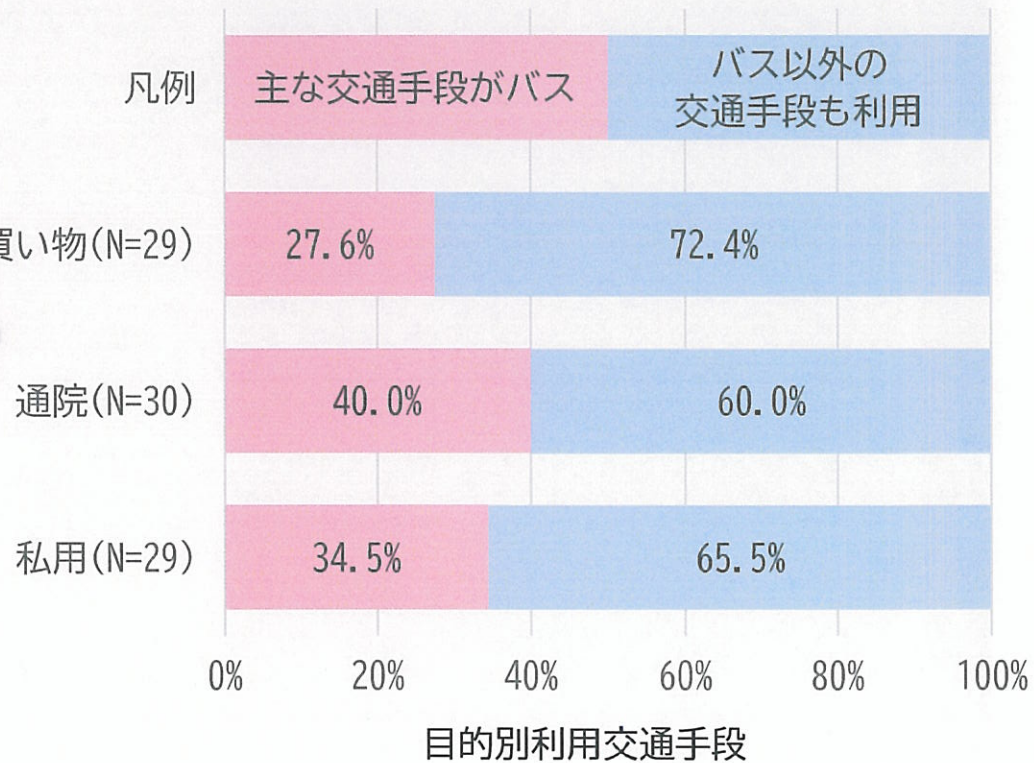
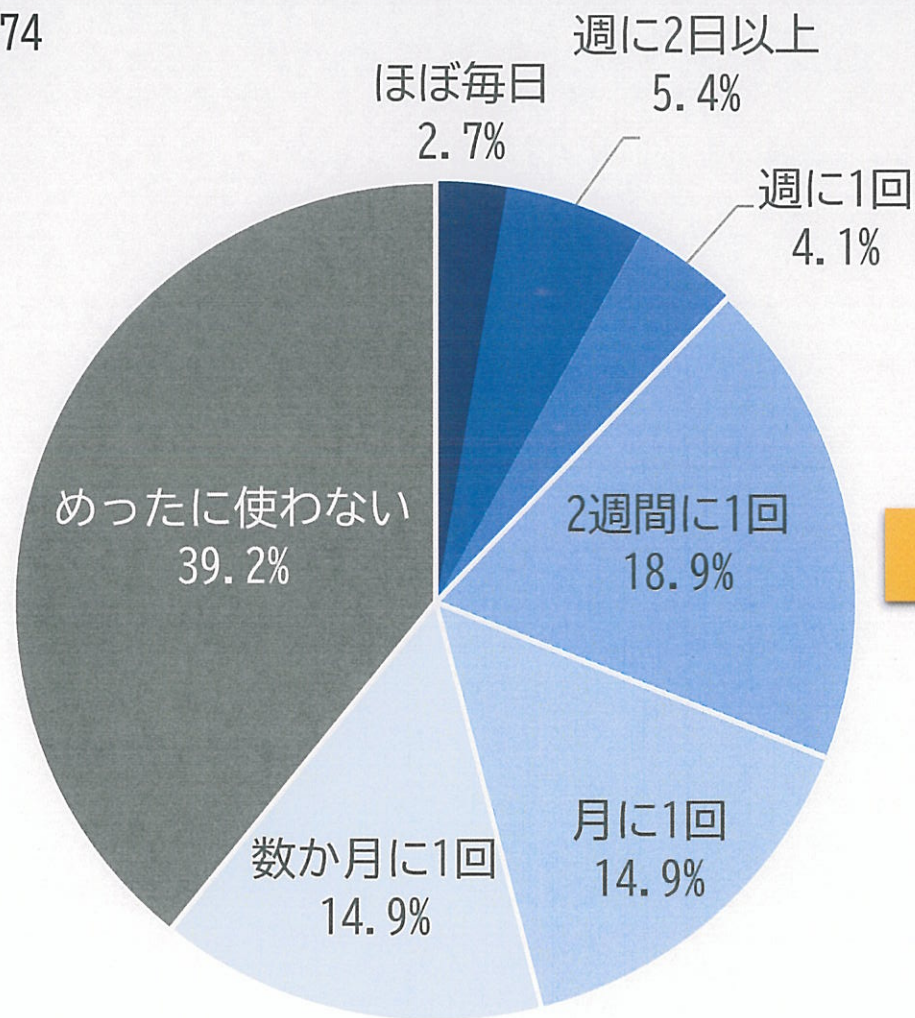
P.2

※面 (P3) にお進みください

◆普段の公共交通の利用頻度

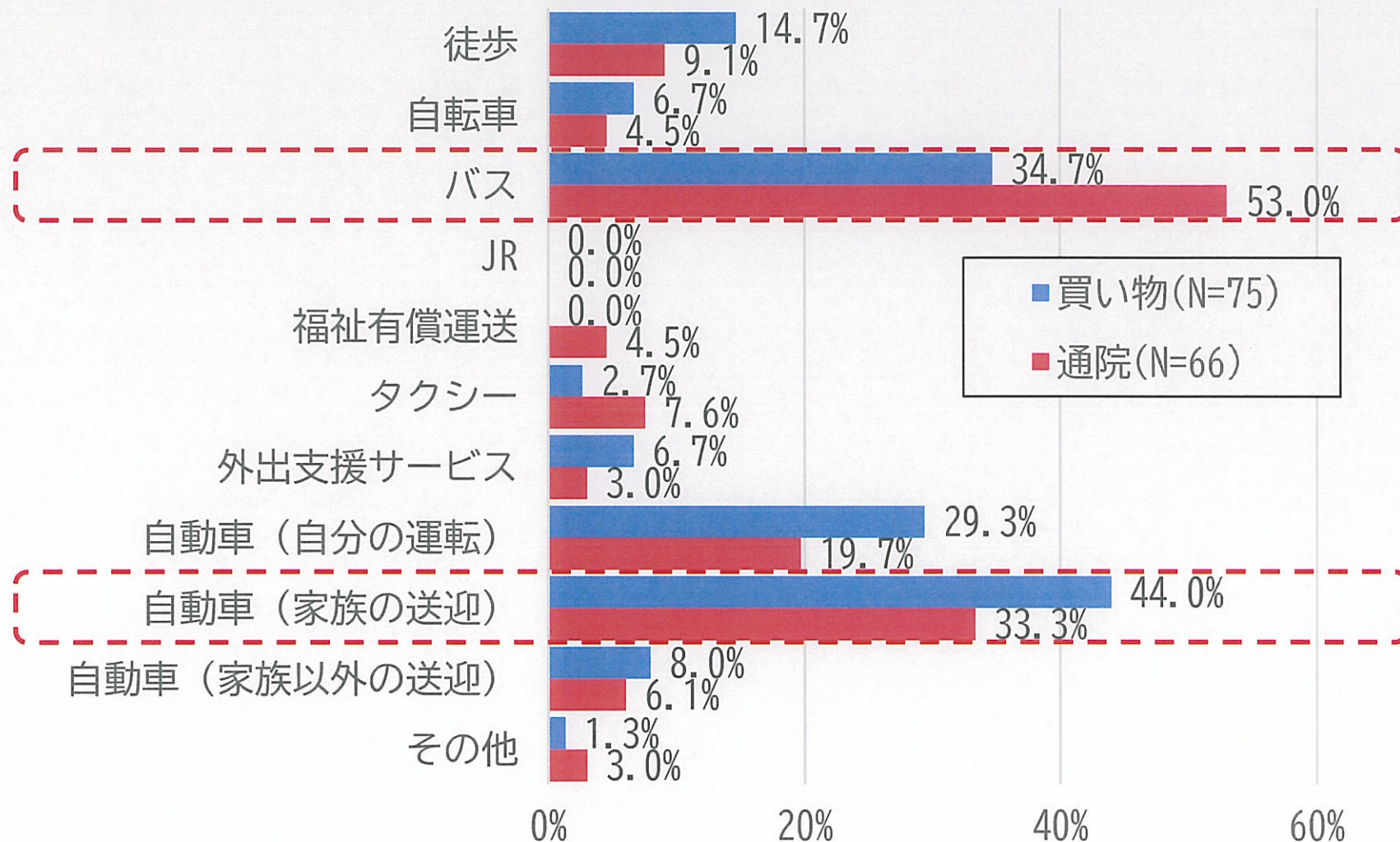
- ・月に1回以上のバス利用がある方は約半数。
- ・バスが主な交通手段となっている方が一定数存在。

N=74



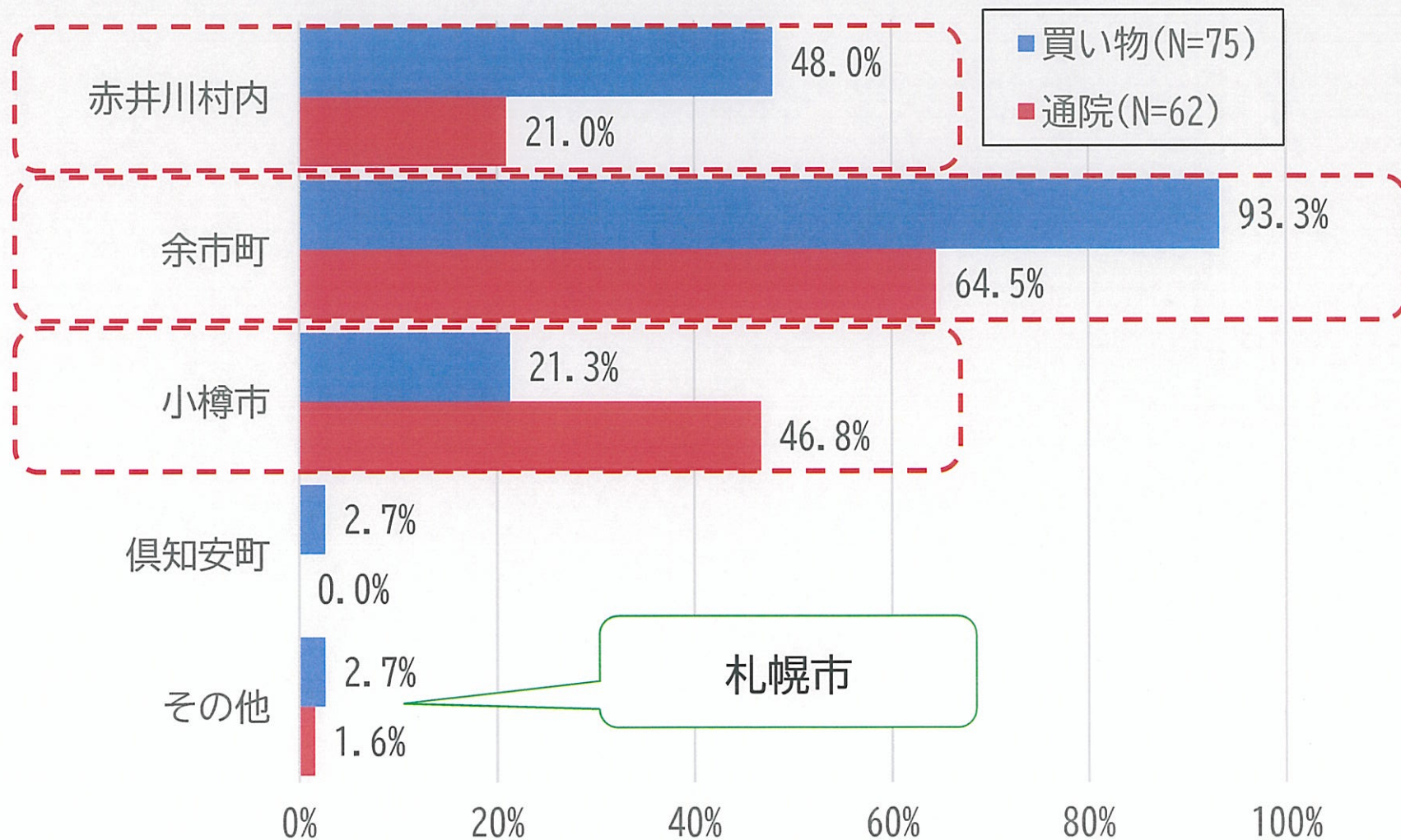
◆買い物や通院時の交通手段

・ 日常の交通手段はバスや家族の送迎に移動が中心。



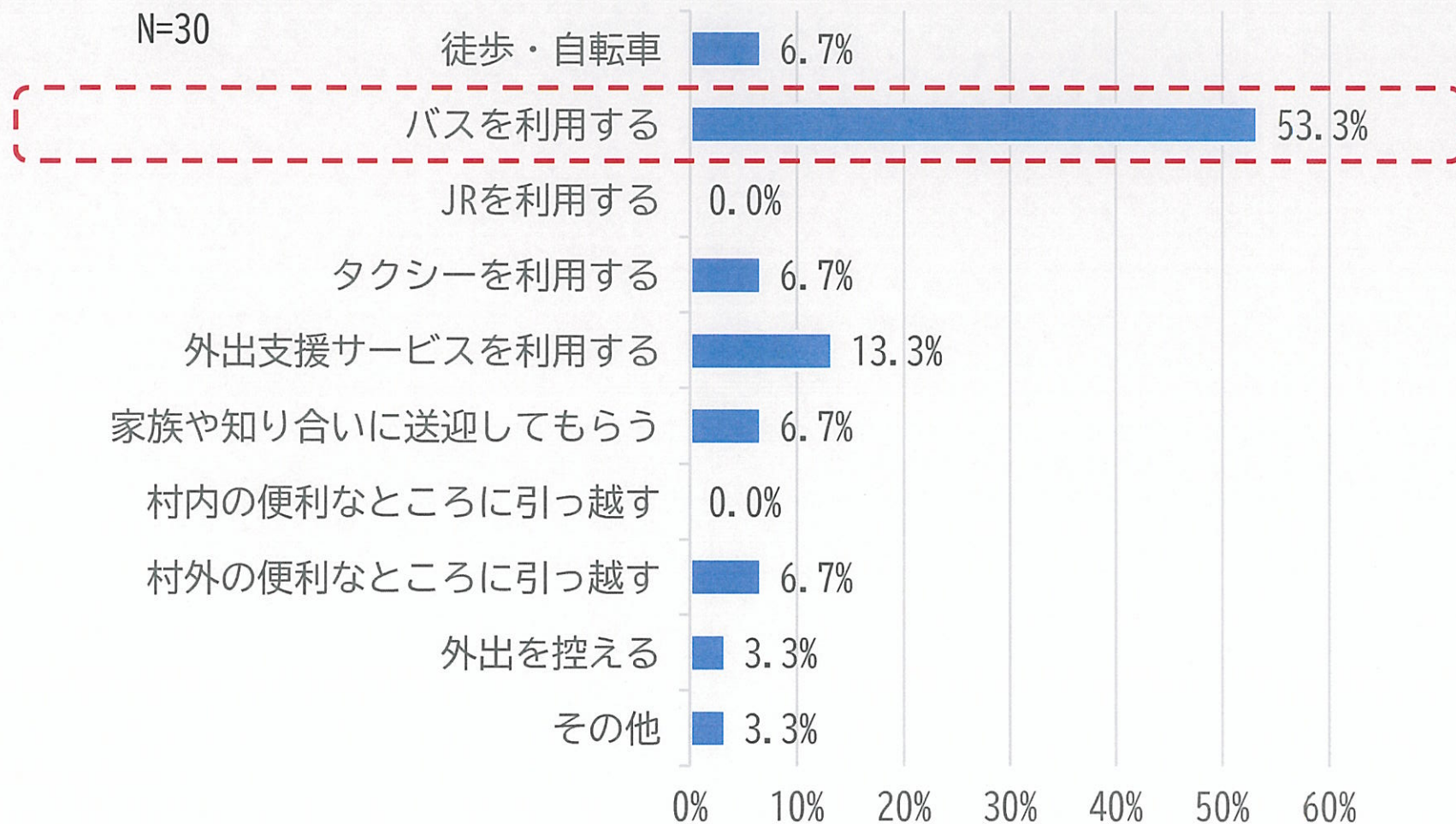
◆ 買い物先や通院先の市町村

・ 回答者の多くの方にとって、余市町が生活圏の一つとして成立。



◆将来、運転が困難になった場合の移動手段

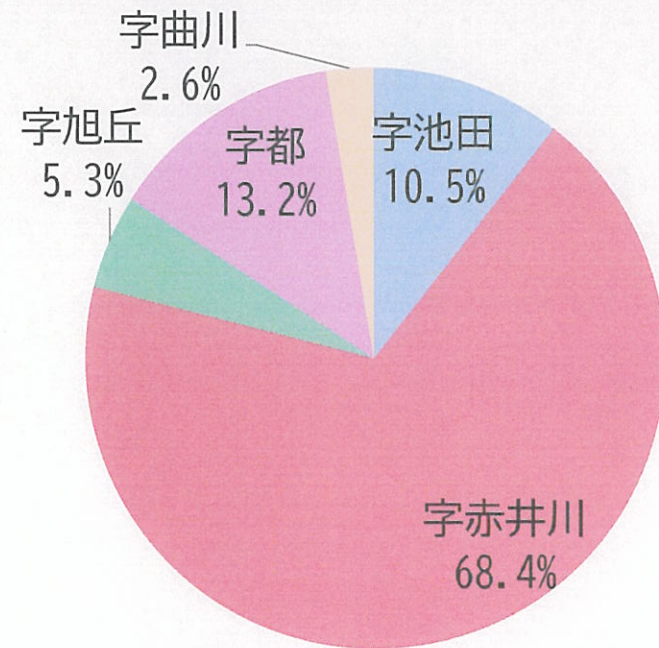
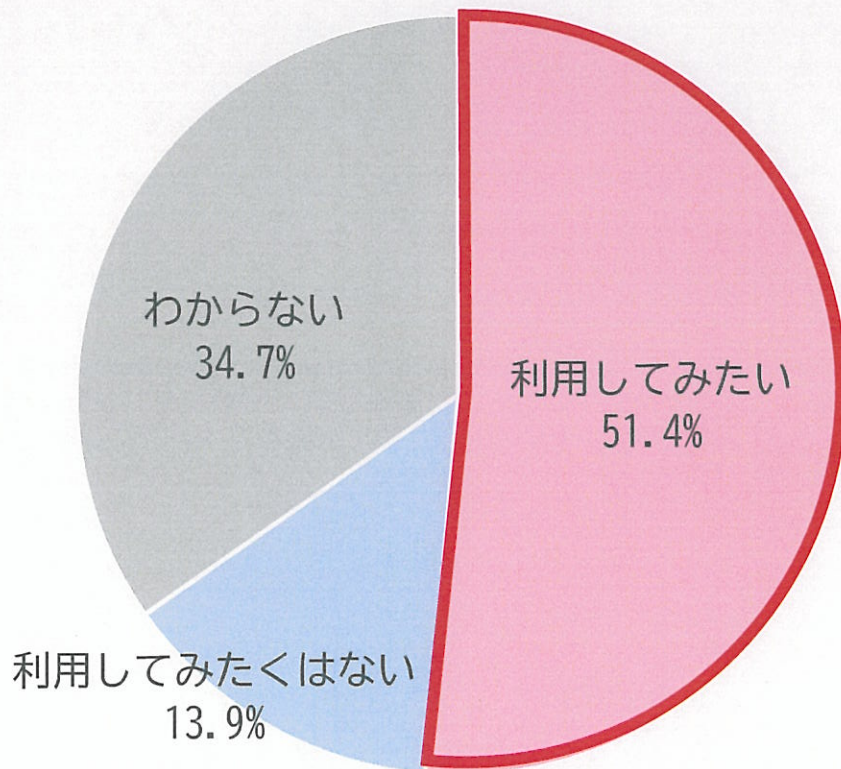
・将来的に自動車からバスへの転換を考えている方が半数以上。



◆新しい交通の利用意向

- ・仁木町で運行している「ニキバス」のように電話やFAXで予約を行い利用する予約運行型バスを、約半数の方が利用してみたいと回答。

N=72



(N=38)

利用意向がある方の地区内訳

◎村内移動における利便性の向上

- ・村内移動における交通空白地域の存在
⇒赤井川市街地のほか、池田地区や曲川地区等
- ・バス停までの移動が困難な方の移動支援の不足
⇒幹線道路を中心とした運行
- ・観光利用も可能な村内施設を結ぶ移動支援の不足
⇒キロロリゾート等の宿泊施設からの村内移動

◎村外移動における利便性の向上

- ・村外移動における通学時間帯や日中時間帯における利便性が低い
⇒住民ニーズとマッチしていない部分の改善が必要
- ・村外における他公共交通機関との接続利便性が低い
⇒JRや他バス路線等との接続のため、交通結節点等での待ち時間が長い

◎地域交通資源を活用した公共交通体系の構築

- ・充実した村内公共交通体系の構築に向けた運行体制の増強
⇒体制の増強に向け、村内交通資源の活用を検討
- ・近隣市町村等と連携した取組の実施検討
- ・新たに構築される公共交通体系の周知に向けた取組の実施検討
⇒住民がバスを利用しやすい環境づくりに向けた利用促進策等の検討

①余市町及び小樽市へのアクセス交通の利便性向上

- ・余市町へのアクセス交通の維持
- ・小樽市とのアクセスを考慮した交通体系の検討
- ・通学時間帯や生活移動時間帯における移動手段の確保
- ・JRや高速いわない号等との接続性を確保

②既存交通資源を活用した村内交通の充実

- ・自宅からバス路線沿線までのラストワンマイル交通を確保
 - ⇒市街地：社会福祉協議会との連携
温泉送迎バス等との一本化
 - ⇒曲川：ニキバスの活用
- ・市街地等における沿線までの移動の充実
- ・村内主要施設への立ち寄れる交通の導入
- ・住民ニーズに即した公共交通サービスの提供

③観光利用も含めた交通体系の構築

- ・観光ニーズにも対応した公共交通ネットワークの構築
- ・キロロリゾート、道の駅あかいがわ等との連携

④村内公共交通の再編に伴う利用促進策の実施

- ・新しい交通の導入に向けた実証運行の実施等、利用方法や運行内容等の村民への周知に向けた利用促進策を実施

